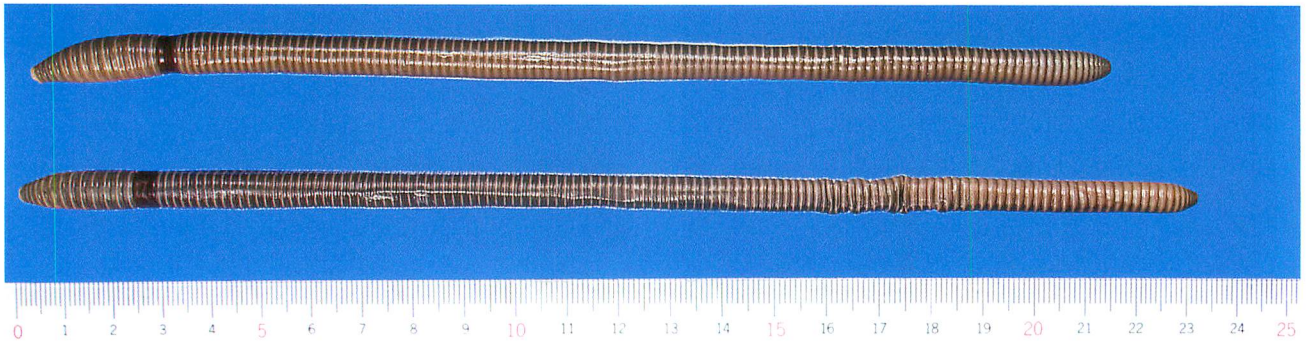


琉球大学学術リポジトリ

[和名] アカシマフトミミズ [学名] *pheretima kunigamiensis* Ishizuka, Azama & Sasaki, 2000

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2009-10-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐々木, 健志 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/12731

アカシマフトミミズ

Pheretima kunigamiensis Ishizuka, Azama & Sasaki, 2000

RUMF-ZO-00003, RUMF-ZO-00004 (Paratype)

原記載 : Ishizuka, K., Azama, Y. and Sasaki, T., 2000. Two new species of the genus *Pheretima* s. lat. (family Megascolecidae) from the Yambaru district, Okinawa Island, Japan. *Edaphologia*, 65: 89-95.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZO-00003	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村西銘岳	1999/02/14	佐々木健志・二神和靖	雌雄同体	液浸
RUMF-ZO-00004	Paratype	日本沖縄県沖縄島国頭村西銘岳	1999/02/14	佐々木健志・二神和靖	雌雄同体	液浸

沖縄産既知種の中ではヤンバルオオフトミミズに次ぐ大型の種で、体長 262 mm、幅 8.5 mm に達する。沖縄島の固有種で、おもに沖縄島北部のイタジイ (*Castanopsis sieboldii*) が優占する自然度の高い森林に生息する。原記載に用いたタイプ標本を含め、ほとんどの個体が降雨後の林道上や側溝内に堆積した落葉中で採集されており、本種の詳しい生態については不明である。種小名の *kunigamiensis* は、本種が発見された沖縄島北部の村名に因む。

沖縄県内に産する貧毛類については、戦前に行われた調査をもとにした小林 (1941b) と Ohfuchi (1956) による報告があるのみで、これ以降は本種が記載されるまで分類学的研究はなされていない。近年、本種が属するフトミミズ属 (*Pheretima*) に関しては、安座間 (2002) が沖縄島に生息する種を詳細に研究し、8 種の既知種と 26 種の未記載種を報告している。

(佐々木 健志)